

平成30年度 第2回江別市行政改革推進委員会 会議録（要点筆記）

日 時：平成30年11月21日（水） 18:00～19:15

場 所：公室

出席委員：千里政文委員長、奥村昌子委員、吉川哲生委員、浅野善之委員、中井悦子委員、
藤岡章一委員、古石允雄委員、三ツ井瑞恵委員（計8名）

欠席委員：坂上伸也委員、小山千賀子委員

事務局：企画政策部北川部長、企画政策部白石次長、政策推進課堂前課長、毛利主査、
坪松主査、岩村主査

傍聴者：1名

会議概要

1 開会

2 報告事項

・行政改革推進計画の取組状況（平成29年度）について

事務局から説明

- ・江別市行政改革推進計画の取組状況（平成29年度）概要版：（資料1）
- ・江別市行政改革推進計画の取組状況（平成29年度）（案）：（資料2）
- ・えべつ未来づくりビジョン＜第6次江別市総合計画＞「みんなでつくる未来のまちえべつ」 2014（平成26）年度～2023年度（案）
- ・えべつ未来戦略 2019（平成31）年度～2023年度（案）
- ・江別市自治基本条例
- ・みんなでつくろう美味しいえべつ～江別市自治基本条例～
- ・江別市人材育成基本方針
- ・江別市財政の現状と課題

【質疑】

なし

3 協議事項

・次期行政改革推進計画について

事務局から説明

- ・行政改革推進計画取組項目検討一覧：（資料3）
- ・行政改革推進計画骨子（案）新旧対照表：（資料4）

【質疑】

○奥村委員

資料3、2ページの取組項目「職員の仕事・子育て・女性活躍推進に関する行動計画の推進」について、取組内容として3つ挙げている。その中で、「女性活躍推進」については、「女性職員のキャリアアップを目指した外部研修への積極的な派遣」が、具体的な内容として挙げられていると理解した。

また、「江別市人材育成基本方針」の7ページにあるように、管理職への昇任を希望する職員の割合について、男女差がかなりあることが、この部分に反映されていると読み取れた。しかし、管理職への昇任に対する意欲向上については、研修だけではなく、働く環境整備も重要だと考えている。「女性活躍推進」について、ワーキンググループでどのような意見が出てこの提案となったのか、その背景を教えてください。

○事務局

職員のワークライフバランスの確保について、現行では「質の高い仕事のできるワークスタイルの追求」としており、取組内容としては具体的には、職員の仕事と子育ての両立を実現するための計画である、「特定事業主行動計画」の見直しを行うものである。この「特定事業主行動計画」については、江別市では「江別市職員の仕事・子育て・女性活躍推進に関する行動計画」という名称を使用しており、今回の改定では取組項目にその名称の一部を使用した。

「職員の仕事・子育て・女性活躍推進に関する行動計画の推進」では、女性の活躍推進に関して、計画期間である平成37年度までの10年間で女性管理職を全体の15%となるよう努めるといった数値目標を掲げており、人事部局と協力をしながら推し進めていくこととなっている。

○奥村委員

そのための取組として、外部研修への参加が必要と考えているということか。

○事務局

外部研修が必要であると同時に、出産や子育て期を配慮した人事管理を行うという2つの視点で女性職員のキャリアアップを目指していく計画である。

○千里委員長

女性の活躍は良いと思うが、「子育て」とは出産という意味なのか。家事の平等といった観点で、男性も含まれている意味における「子育て」なのか。

○事務局

行動計画では、「女性活躍」という言葉は使用しているが、女性職員の活躍促進のためには男性職員の家庭生活への参画促進は不可欠のため、男性職員の配偶者出産休暇及び育児参加のための休暇の取得率の数値目標も定めている。

○古石委員

資料3、1ページの取組項目「双方向性を意識した情報共有の推進」の取組内容「出前講座の充実」について、一般的にどのような内容の講座が人気なのか。また、年間どの

くらいの数の講座を実施しているのか。

○事務局

平成28年度まではマイナンバー関係と防災関係が同じくらい人気であったが、マイナンバーについては周知されてきたこともあり、現在は防災関係が最も希望の多い講座となっている。平成29年度の出前講座の開催回数は97回(25講座)で、参加人数は延べ4,249人となっている。受講団体は自治会関係が最も多い。

○三ツ井委員

資料3、4ページの取組項目「ふるさと納税の推進など財源の確保に向けた取組」について、平成29年度の取組状況の報告では、ふるさと納税の拡大について検討するワーキンググループが設立されたということであったが、ワーキンググループで議論されたことを、さらに大きな枠組みで実践するという理解で良いか。

○事務局

昨年度にふるさと納税の拡大を検討するためワーキンググループを立ち上げてアイデアを募ったが、そのアイデアも踏まえ今後もふるさと納税の推進に向けて検討を継続していく予定である。江別市にも数多くふるさと納税として寄附していただいているので、今後も引き続きこのレベルを維持できるように取組を行っていきたい。

○藤岡委員

江別市内には4つ大学があるが、卒業生のうちどのくらいの人数が、市内で採用されているのか。

○事務局

市内大学から例年約2,500人の学生が卒業するが、市内で就職するのは10名程度と記憶している。札幌本社や東京本社で採用されてその会社の江別支店で働くことはあるが、江別本社で採用され江別市内で働くということはあまり多くない。

○藤岡委員

江別市職員には市内大学の卒業生は毎年どのくらい採用されるのか。

○事務局

新規採用職員は退職者の補充となり、例年、様々な職種で約20名から30名の採用になる。しかし、市内大学卒業生採用の枠はなく、公平な採用となるので、市内大学卒業生はおそらく1名いるかいないかだと思われる。

○古石委員

かつて議会で、市内4大学から必ず数名は市職員として採用してほしいという提案があったが、難しいという雰囲気があった。

○藤岡委員

優秀な人材を採用した方が良いと思うが、景気が良いので学生が民間企業に流れており、公務員を敬遠する時代になってきている。北海道職員で約6割、札幌市職員でもかなりの人数の採用試験合格者が辞退している。

○事務局

資料3、2ページに取組項目「職員採用手法の検討」があり、その実績として以前は年1回の採用試験日程だったが、現在は前期・後期の2つの日程で試験を行い、優秀な職員の確保に努めている。また、大学生など就職活動中の方向けにガイダンスを行い、江別市の特徴や魅力、仕事内容などについてPRし、より多くの方に受験をしていただけるよう努めている。

○浅野委員

江別市の職員採用試験ではどのような科目を課しているのか。民法や行政法、経済学などはあるのか。

○事務局

一般事務職であれば、一般的な公務員試験で行う内容の筆記試験のほか、江別市では論文試験を設けている。その後、職種によるが、2回から3回程度の面接試験を実施している。

○浅野委員

採用段階では、行政に関する学問の知識はないということか。

○事務局

一般事務職については公務員としての一般教養の試験となる。専門職については専門科目を別に課しており、面接の中では技術的な面についても質問している。

○千里委員長

江別市の採用は、学業成績だけではなく、面接をかなり重視しているように感じる。人と接する部分など総合的に見て判断しているように思う。

北翔大学では、江別市役所の試験を受ける学生はあまり多くなく、市役所よりも早く採用が決まる一般企業への就職を希望する学生が多いように感じる。江別市内には大学だけではなく高校もあるので、高校生への働きかけも重要だと考えている。

市内には良い企業がたくさんある。しかし、企業と学生がうまくマッチングされていないことや、学生が札幌や東京といった大都市により関心が向いていることが残念であり、そこが改善されると市にとってもプラスになると感じている。

○奥村委員

江別市内に住む学生が市内4大学に進学している割合は高いが、就職の際には市外に出る傾向がある。しかし、時間が経ってから江別市に戻ってくる人もいるので、高校在学中からの市の働きかけや接触も大切だと思う。

○事務局

江別市の人口動態を調べているが、22歳頃から市外へ転出している人が多い。就職を機に転出しても、その後江別市に戻ってくるような施策が必要だと考えている。

○中井委員

資料3、3ページの取組項目「職場内のコミュニケーションを活発化させるための執務環境の改善」の取組内容である「フリーアドレス」については、一般企業では様々な取組

を行っているが、市役所においては具体的にどのように実践するイメージなのか。

○事務局

今年度から、政策推進課で試行的にフリーアドレスを実施している。基本的に席を固定せず、自由に移動できるようにしている。自分の荷物は移動可能なキャビネットに収納し、席を移動する場合はそのキャビネットとともに移動する。一つの大きなテーブルを6名で利用しているので、椅子を近くに寄せるだけで打ち合わせが可能となり、打ち合わせのために場所を別に確保する必要がない。また、次に誰が座っても良いように、退勤する際に物を机の上に置きっぱなしにせずキャビネットに全て収納するので、自ずと自分の荷物を少なくしようとする効果もある。

今年度は政策推進課のみで実施しているが、新計画の策定以降は、庁舎内のコミュニケーションの活性化、物の整理という視点から、実践できる部署から広げていきたいと考えている。

○千里委員長

一般企業では、組織をスムーズに運営する目的で行われており、かなり導入が進んでいる。

○吉川委員

市民に対する窓口業務がない部署であれば良いが、窓口業務がある部署では職員の席が頻繁に変わってしまうと利用する市民からすると不便に感じる可能性もあり、実践は難しいと思う。札幌学院大学内でもフリーアドレス導入の案が出たが、窓口がある部署と同様に、大学も学生への対応を考慮すると導入は難しいという話になった。

○千里委員長

計画では、窓口は除いて考えているのか。

○事務局

今後の方向性として、ご指摘のあった部分も含めて、担当している部局と話し合いを行い、進めていきたいと考えている。

○吉川委員

フリーアドレスは課内で実施するのであれば問題ないが、課外も含めて広く移動した場合、人を探すのが難しくなる。フリーアドレスになった場合、電話などはどのようにしているのか。江別市役所では固定電話なのか。または、直通で個人につながる電話があるのか。

○事務局

現状、政策推進課には固定電話が3台あり、専用電話としての概念はないが、取次は可能である。

○吉川委員

窓口フリーアドレスを適用する際には、一つの可能性としてワンストップ型にすると、職員数の縮小や窓口の一本化が可能となり、人を探しづらいなどというフリーアドレスに関する問題を回避できるのではないか。

○千里委員長

フリーアドレスを導入することで書類はコンパクトになりそうなのか。

○事務局

難しい部分もあるが、個別の机を使用している時よりも不要な書類は廃棄し、必要な書類は効率的に保存するという意識は強くなってきている。コミュニケーションという側面だけではなく、文書の電子化による紙の削減という視点もフリーアドレスの中に要素としてある。

○吉川委員

資料3、4ページの取組項目「庁内文書の電子化」について、紙の削減は重要なのであえて記載していると思うが、同ページの取組項目「庁内システムのクラウド化」と「庁内文書の電子化」は分ける必要はなく、セットになるのではないかと。

○事務局

「庁内システムのクラウド化」で想定している内容は、住民票や税務、福祉などの情報システムである基幹システムのクラウド化である。現在は、基幹システムのサーバを江別市が管理しているが、それをクラウド化し外部のデータセンターで安全に保有、管理することを考えている。委員のご指摘のように全ての庁内文書のクラウド化ではなく、基幹システムに限定した狭い部分でのクラウド化を想定していたので、庁内文書の電子化とクラウド化を個別に取組項目として挙げている。

○吉川委員

庁内文書の電子化はどのように行うのか。

○事務局

資料を配布する際にむやみに紙に印刷して配布するのではなく、メールなどで済ませることができるものはデータ送信のみにするといったようなイメージの電子化をまずは想定している。

○浅野委員

会議なども紙の資料ではなく、ノートパソコンなど電子媒体を持ち込んで行うのか。

○事務局

現状は紙媒体での会議を開催している。電子媒体での会議については財政面も含めて研究をしていかなければならない項目だと考えている。

○奥村委員

情報大学では、会議資料等は全てPDF化されたものとなっている。会議前にクラウドにアクセスして、各自ダウンロードしたノートパソコンやタブレットを会議に持ち込み閲覧している。

○千里委員長

会議に参加する市民の方は高齢の場合もあるので、紙媒体が必要な場面もある。また、電子化のためのシステム導入等に多額な費用を負担するとなれば本末転倒である。

○事務局

関係職員に会議などの資料をデータで送付した場合でも、参集した際に見る電子媒体がない。W i - F i などの環境、タブレットや持ち運び自由なパソコンの導入も財政面でハードルがある。

○千里委員長

クラウドと聞いて総合的に庁内文書をクラウド化するという印象を受けたが、実際はそうではなく理解しづらい部分もあるので、整理しなければならない。

○事務局

ご指摘の部分については、素案作成時に整理していきたい。市のサーバは、9月の地震の際には大きな影響を受けた。庁内システムをクラウド化することで有事の際にも安全に運営できる体制を整えたい。

○千里委員長

他にご意見はあるか。

○各委員

なし

○千里委員長

本日出された意見について、事務局で検討していただきたい。

4 その他

○事務局

この会議終了後においてもご意見がある場合は、11月30日までに事務局までメールまたは、別紙「行政改革推進計画骨子（案）に対するご意見」に記載の上、F A X、郵送等でご提出願う。次回の開催は来年1月頃を予定しており、骨子案をもとに、さらに内容を詳細にまとめた計画の素案についてご検討いただく。

5 閉会